



ほかにはない
アンサーを。

2018年3月期 決算説明資料

2018年5月14日
オリックス銀行

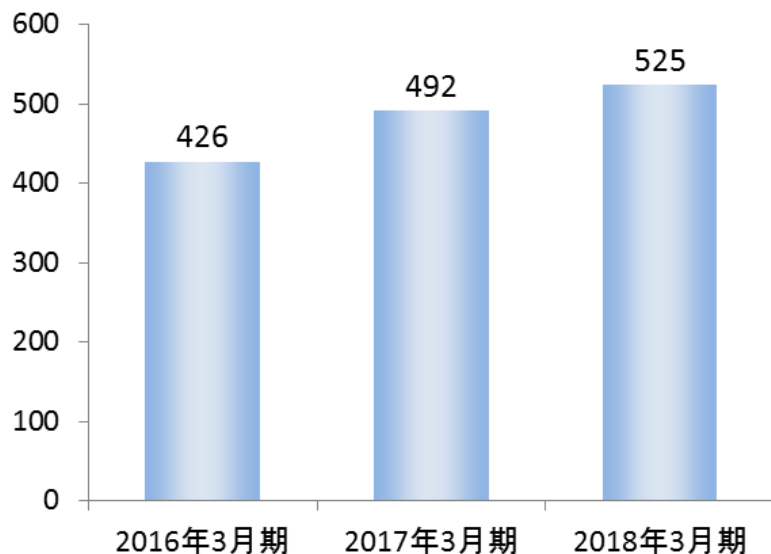
※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、
表示しています。

損益の状況

- 経常収益・当期純利益ともに最高益を更新。
- 当期純利益は前期比28%増となる大幅増益。

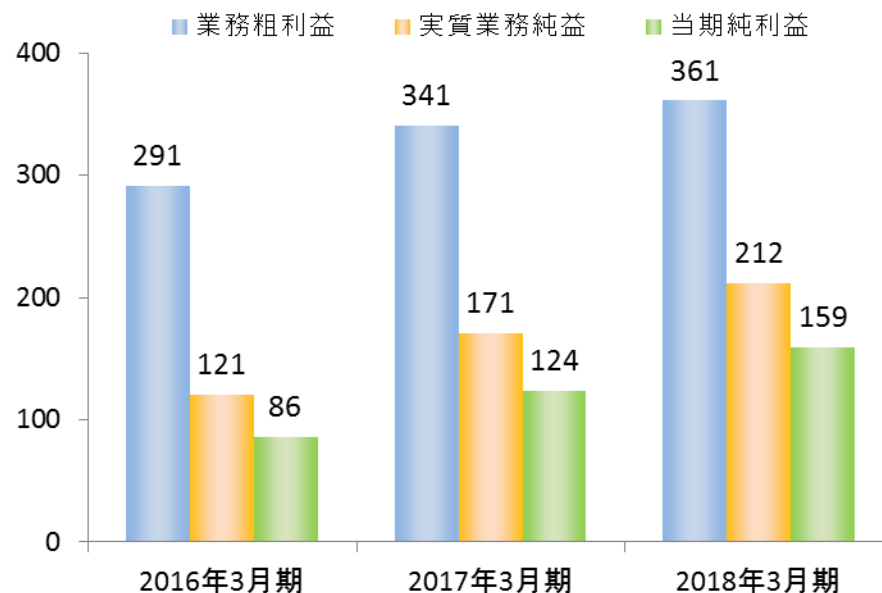
経常収益

(単位:億円)



業務粗利益・実質業務純益・当期純利益

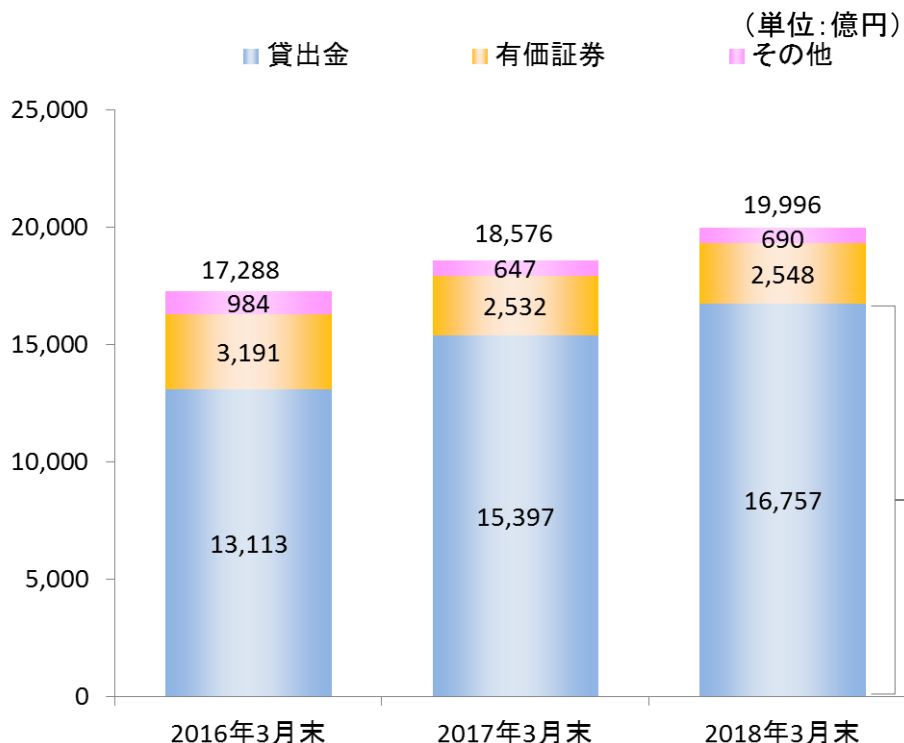
(単位:億円)



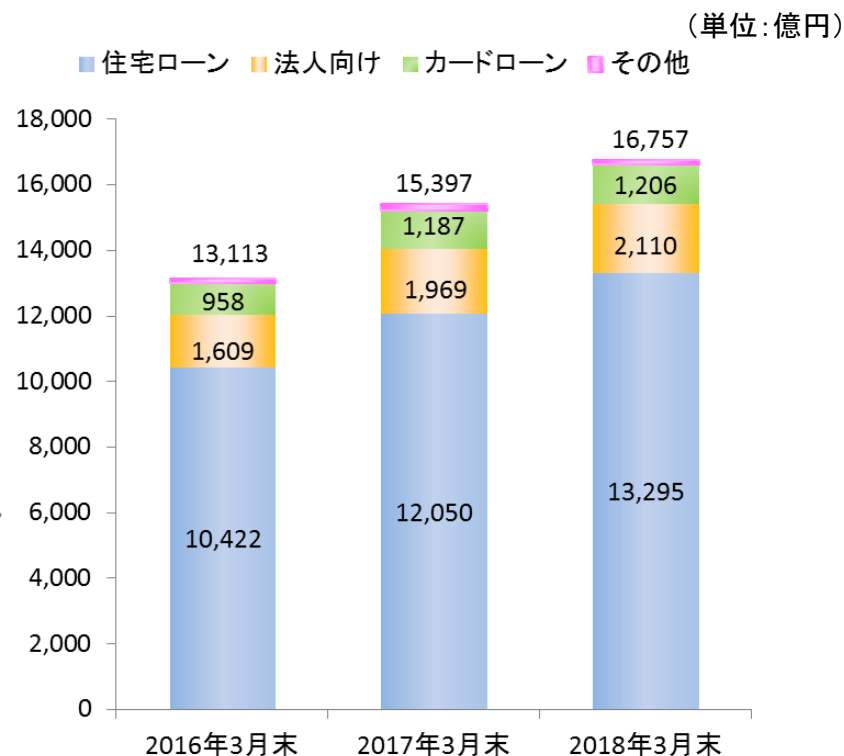
貸出金の状況

➤ 主力の住宅ローンを中心に残高を伸ばし、貸出金残高は前期末比8%増。

運用資産残高



貸出金残高

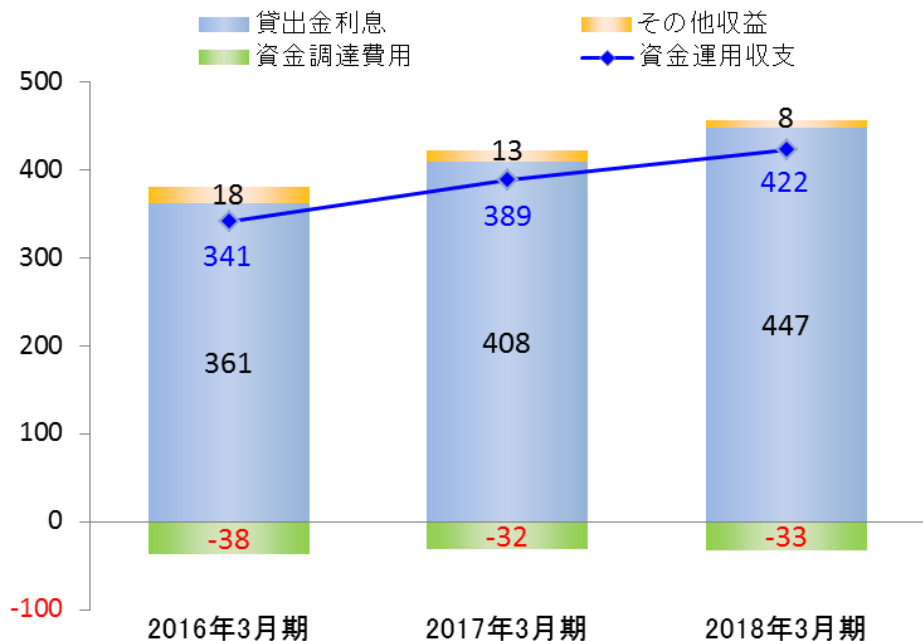


資金運用の状況

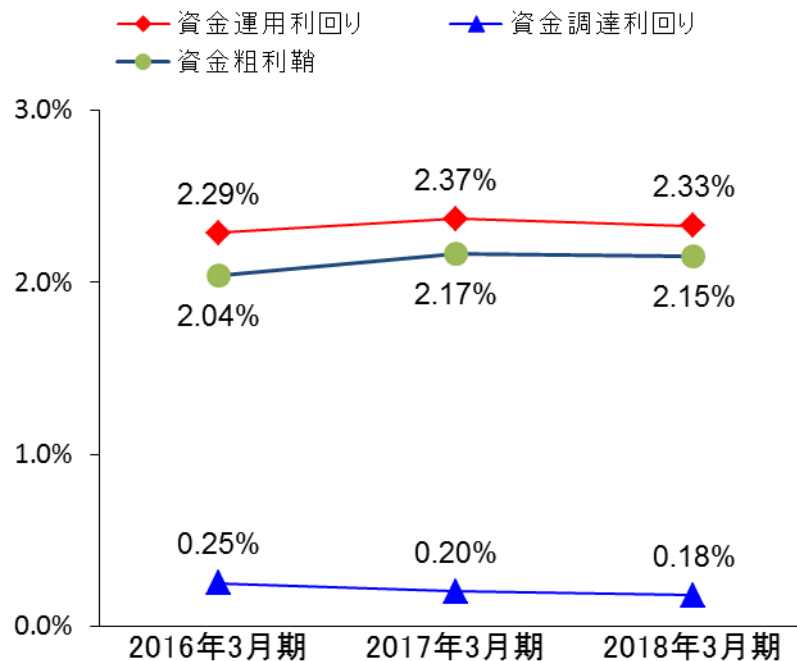
- 貸出金の伸長に伴い、資金運用収支は前期比8%増。
- 資金粗利鞘は、引き続き2%超を維持。

資金運用収支

(単位:億円)



資金粗利鞘・利回り

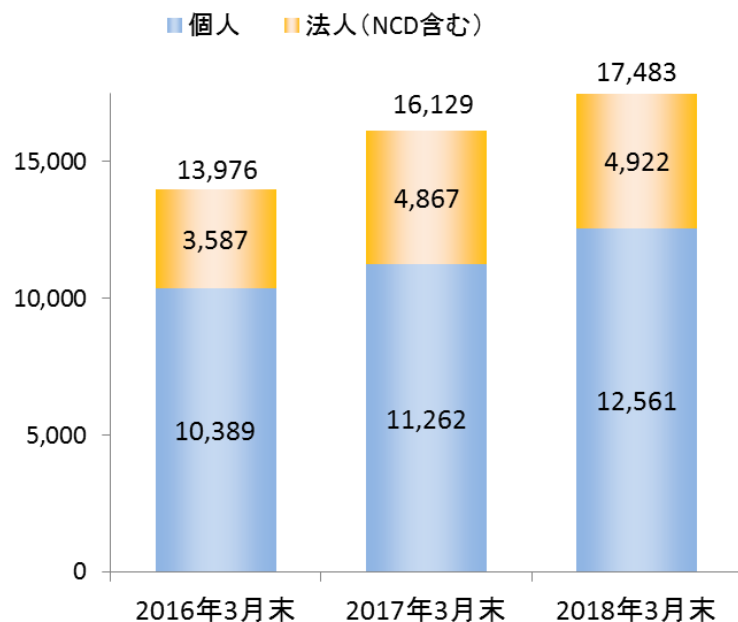


預金の状況

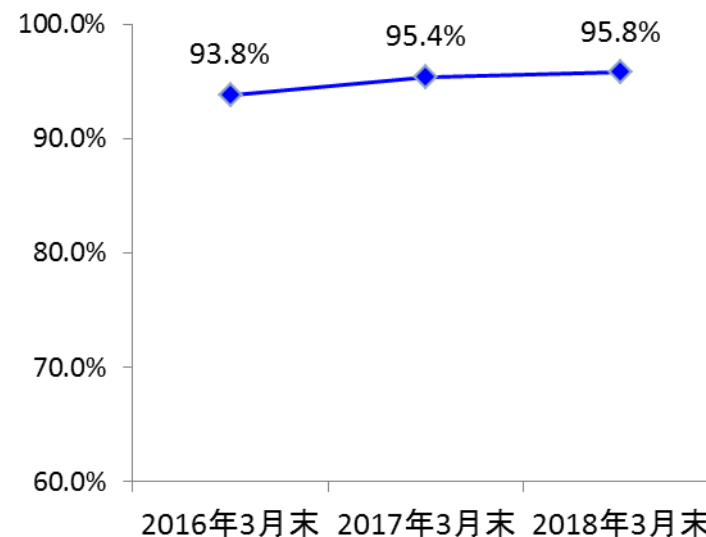
- 個人預金・法人預金共に順調に増加。
- 預貸率は高水準を維持し前期末に比べ0.4ポイント増。

預金残高

(単位: 億円)



預貸率

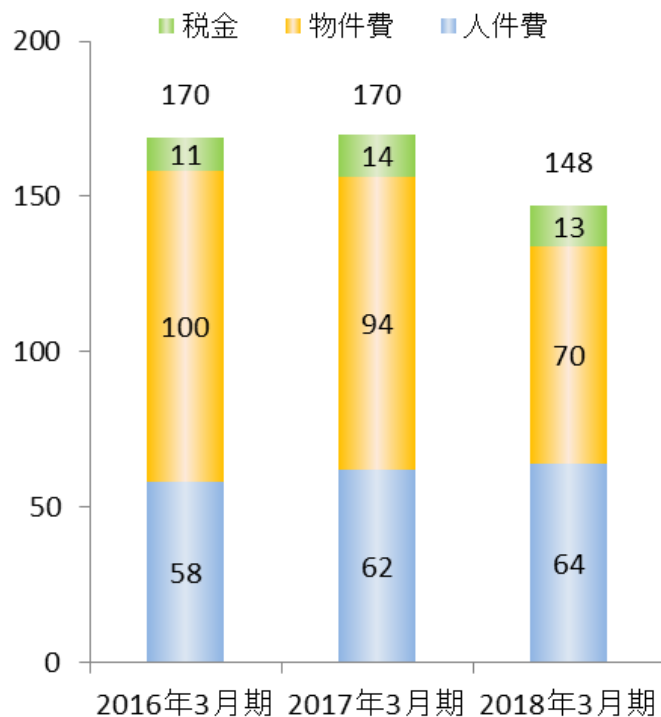


営業経費と経費率

- 営業経費は広告宣伝費の抑制を中心に前期比13%減。
- 経費率は前期に比べ8.9ポイントの低下。

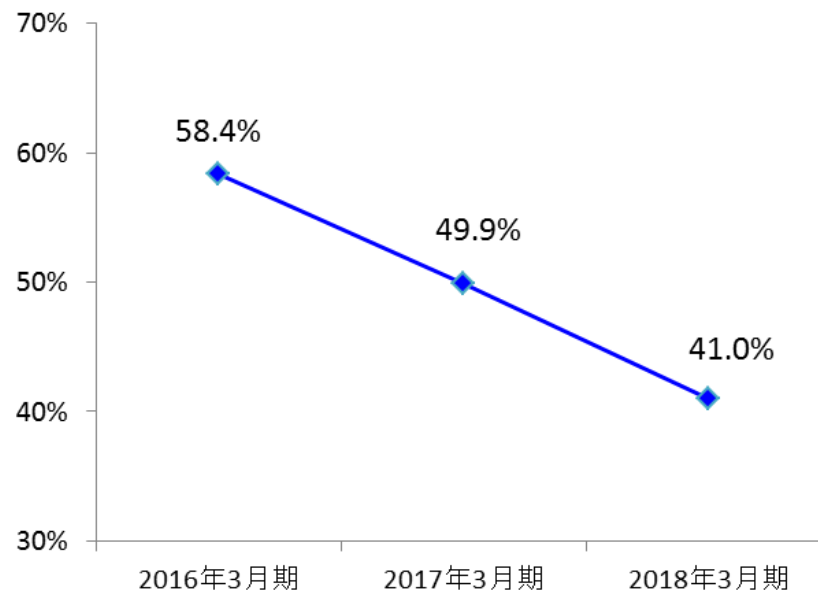
営業経費

(単位:億円)



経費率

※経費率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益

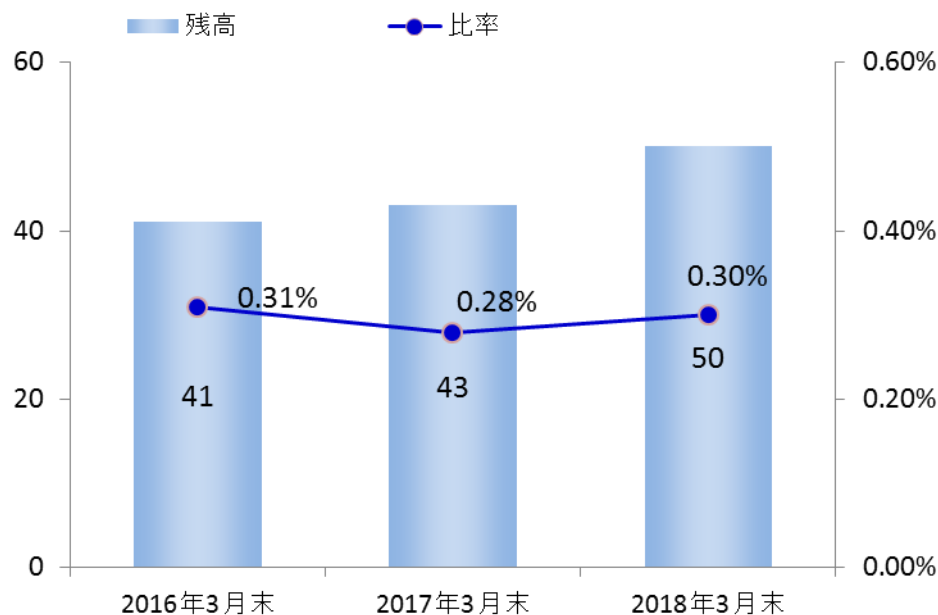


リスク管理債権(不良債権)の状況

- リスク管理債権残高・同比率は引き続き低水準を維持。
- 与信関連費用は貸出金増加に伴い増加。

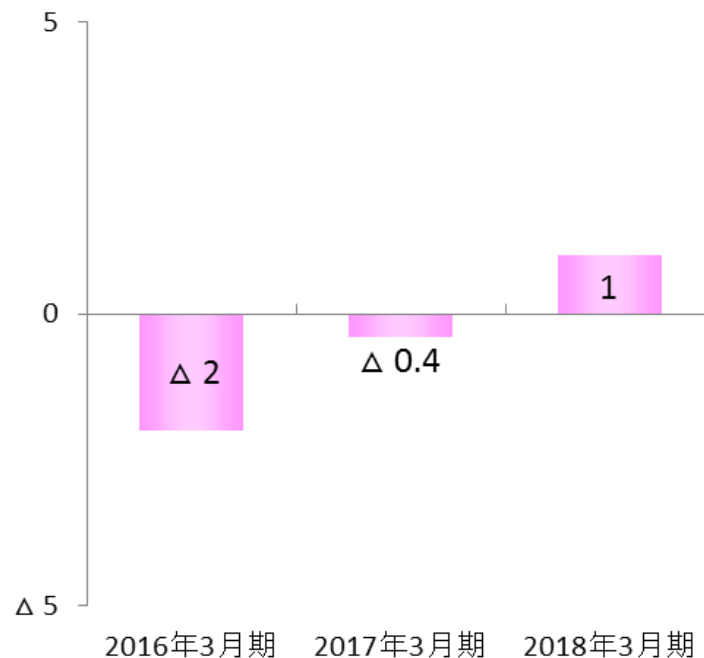
リスク管理債権残高・同比率

(単位: 億円)



与信関連費用

※償却債権取立益を含む / △符号は戻り益 (単位: 億円)



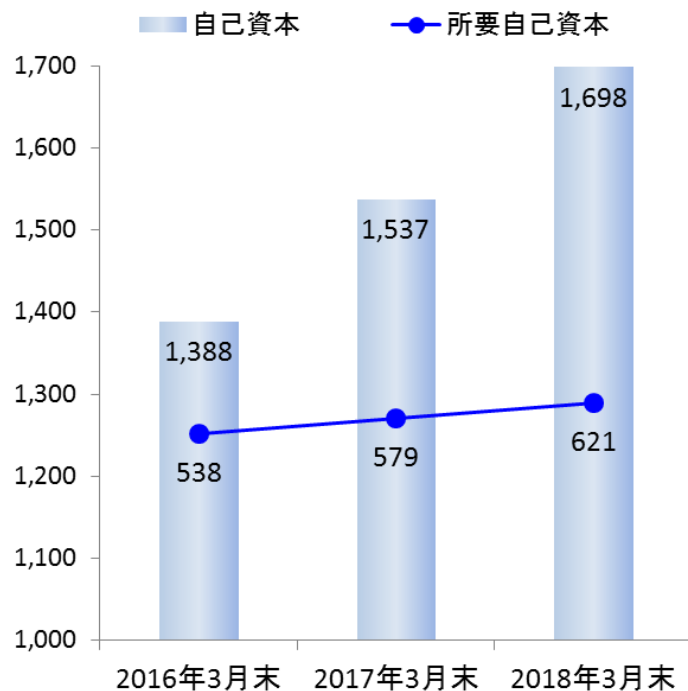
自己資本の状況

- 自己資本額は前期末比10%増。自己資本比率は健全な水準で推移。

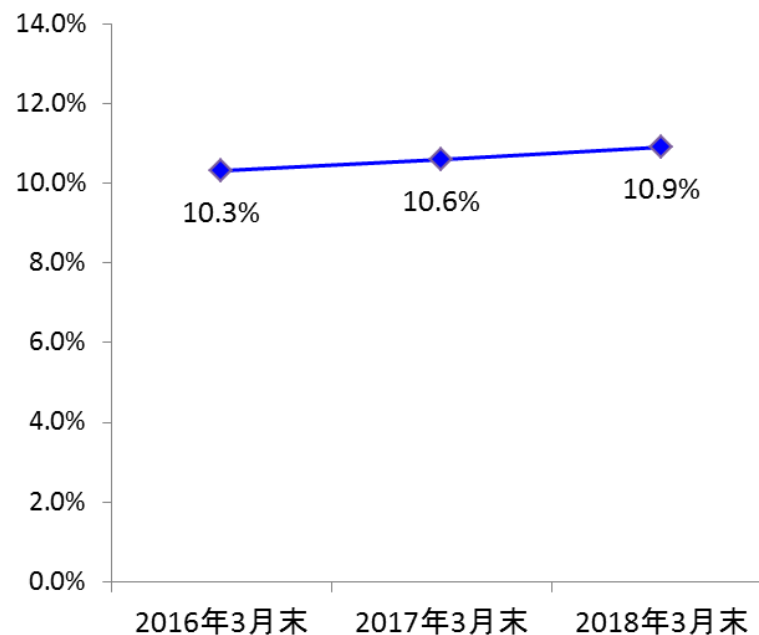
自己資本・所要自己資本

※所要自己資本は国内基準行の最低比率4%で算出

(単位: 億円)



自己資本比率



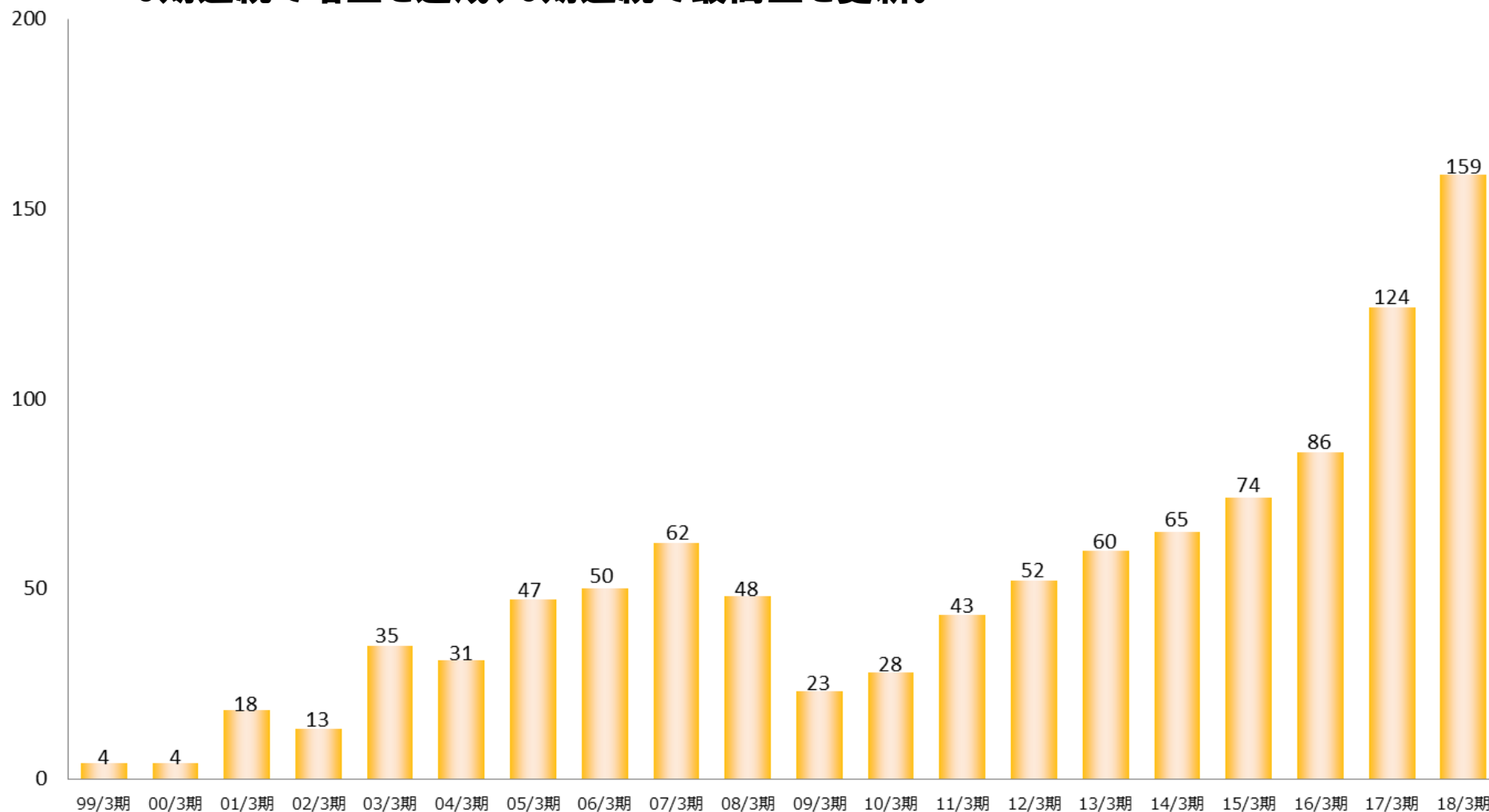
補足資料

補足資料(1) 当期純利益の推移



(単位:億円)

➤ 9期連続で増益を達成、5期連続で最高益を更新。



補足資料(2) リスク管理債権(不良債権)の状況



(単位: 億円)

➤ 適切な与信判断と途上管理により、リスク管理債権は低水準を維持。

リスク管理債権残高

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	前期末比
破綻先債権	1	1	1	0
延滞債権	33	38	48	10
3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	6	3	0	△ 3
残高	41	43	50	7

金融再生法ベース開示債権残高

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	前期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16	19	20	0
危険債権	19	19	30	10
要管理債権	6	3	0	△ 3
正常債権	13,208	15,578	16,971	1,393
合計	13,251	15,621	17,022	1,401

※上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

